

■はじめに

「フロアルール」は、大会が公平にきちんと行うための約束ごとです。この「基本フロアルール」では、その中でも、特に大切なことについて説明しています。

ファイターをはじめすべての参加者の皆さんは、みんなが満足できる大会になるよう、この内容をしっかり確認しましょう！より詳しい内容について知りたい方は、「応用フロアルール」を確認してください。

第1章 ファイターとしての心構え

・フェアプレイでファイトしよう！

みんなが満足できる大会になるよう、元気にあいさつして、正しいプレイでファイトして、相手に対してもていねいな受け答えを心がけましょう。

・デッキや筆記用具を持っていこう！

大会で使うデッキや筆記用具は、忘れずに持ってきてきましょう。また、デッキに使っているカードの枚数や、スリーブに傷や汚れがついていないかも、事前にしっかりと確認しましょう。

・コミュニケーションをしっかりとろう！

ファイトは一人でするものではありません。相手と楽しくコミュニケーションをとりながらファイトしましょう。いろいろな宣言や、カードの移動は、相手に確認してもらいながら行なってください。

・わからないことはジャッジに聞こう！

ファイト中、ルールでわからないことがあったり、相手と意見が分かれてしまったら、その場で手をあげてジャッジを呼んで確認をもらい、ジャッジの判断を守ってゲームを進めてください。

・会場のきまりや観戦マナーを守ろう！

「会場内は走らない」「荷物を置いたまま別の場所に行かない」「アナウンスをしっかりと聞く」など、会場のきまりはしっかり守りましょう。

別のファイトを観戦する時は、気持ちよく全力でファイトができるよう、ファイターの真後ろや近くに立たないようにしましょう。また、大声を出したり、勝手に写真を撮ったりすることもやめましょう。

・やってはいけないことを行ってはいけません！

ルール違反や不正行為は行ってはいけませんし、悪い誘いに応じてはいけません。また、誰かを傷つけるような発言や行動をしてはいけません。こういったことを見かけたら、迷わず大会スタッフを呼んでください。

第2章 カードとスリーブ

・正しいカードやスリーブを使おう！

裏や横から見て見分けがつくようなスリーブや、ファイトに必要な情報（テキストやアイコンなど）が隠れるようなスリーブを使ってはいけません。

・カードは正しい位置に置こう！

ファイト中は、別の場所のカードと混ざらないように、きっちりと分けてカードを置きましょう。また、手札をテーブルより下に持って行き、相手から見て隠れるようにしてはいけません。

第3章 シャッフル

シャッフルをする時は、相手に見える位置で、ランダムになるようにしっかりと行ってください。「ランダムにする」とは、「どこにどのカードがあるかがわからないようにする」ということです。

シャッフルの手順例

- ①ヒンズーシャッフル(固まりを上に積み直す切り方)を数回
- ②ディールシャッフル(1枚ずついくつかの山に分けてからひとつにまとめる切り方)または、ファローシャッフル(半分に分けたカードを合わせて押し込んでまとめる切り方)を数回
- ③ヒンズーシャッフルを数回

シャッフルを行った後は、確認の意味を込めて、相手にカット(いくつかの山に分けて積み直す)やシャッフルを行ってもらいましょう。相手のシャッフルがちゃんとできていないと感じた場合は、相手に対して再度シャッフルするよう求めるか、ジャッジに確認してもらおうようにしてください。

第4章 大会の種類

ブシロードでは、主に以下の3つの大会形式で大会を行います。なお、ファイターの成績が同じで、それでも順位を決める必要がある場合(例：入賞者や予選通過者を決める場合)は、抽選をしたり、ファイターが対戦した相手の成績などを比べて順位を決めることがあります。

第4章 大会の種類 (続き)

・スイスドロ

全員参加型の大会方式です。1回戦目は、ランダムな方法でマッチングを行います。2回戦目からは、自分と同じか自分と近い成績のファイターと対戦を行います。

・ダブルエリミネーション

勝ち残り式の大会方式です。全勝のファイターと1敗のファイターだけが次の対戦を行います。

・シングルエリミネーション (トーナメント)

勝ち残り式の大会方式です。ファイトに勝ったファイターだけが次の対戦を行います。

途中で大会参加を終了することを、「リタイア」と言います。受付時間が迫っている別の大会に参加したい時など、途中で参加中の大会を終了したい場合、勝敗結果を報告する時に大会スタッフに伝えてください。

第5章 ファイト中に気をつけること

ファイト中、緊張してしまったり、熱中しすぎてしまったりして、どうしてもうっかりミスは起きてしまうものです。ここで、気をつけておいて欲しいポイントを紹介します。

もし、こういったことが実際に起こってしまい、ファイトが進められなくなってしまった場合、その場でプレイを止めて、ジャッジに確認してもらおうようにしてください。

①ひとつひとつ確実にプレイする

カードを動かす、能力を使う、宣言をするなど、ひとつひとつの行動を相手にしっかりと伝えてプレイしましょう。また、相手がカードや能力を使う時はしっかりと見て、宣言などはしっかりと聞きましょう。

「1枚引く」場合に2枚引いてしまうなど、余分にカードを引いてしまうことがないように注意しましょう。まとめてカードを引くと、余分に引いてしまうことがあるので、1枚ずつ引くようにしましょう。

②必要以上に考え込みすぎない

ファイト中の重要な場面で、考え込みすぎたり、何度も同じことを確認したりして、必要以上に時間をってしまった結果、それがスロープレイになってしまうことがあります。お互いに気をつけて、時間内にファイトが決着するよう心がけましょう。

③過度なハンドシャッフルを行わない

普段からハンドシャッフル(手札のカードの順番を入れ替えること)を行うクセがあると、緊張したり熱中することで、回数が必要以上に増えたり、力強くしてしまうことがあります。

パチパチと大きな音が出るようなハンドシャッフルや、必要以上にハンドシャッフルを行うと、カードが痛んでしまい、カードの区別がついてルール違反になることがあります。また、相手がビックリしたり、こわく感じて、楽しくファイトができなくなってしまうので、行わないようにしましょう。

④ファイト後のコミュニケーションも大切に

勝った時に相手のことを忘れて大声を出したり、負けた後に相手にあいさつをしないしていると、せっかくのファイトが台無しになってしまいます。

対戦が終わったら、「ありがとうございました」とあいさつしたり、握手を交わしたりして、勝っても負けても相手を尊重して、みんなで気持ちのいいファイトにしましょう！

第6章 インターネットで気をつけること

SNS・ブログ・動画サイトなどインターネットに載ったものは、不特定のたくさんの人に届きます。誰かを傷つけるような言葉・画像・映像などを使わないように気をつけましょう。

各TCGの公式サイトやTwitterアカウントでは、最新情報やお知らせを発信しています。いろいろな情報を見つけたり楽しかったことを共有して、インターネットを有意義に活用しましょう！



《更新履歴》

2012年8月15日 ver. 1.00 適用開始

2015年9月28日 ver. 1.01 改訂

2018年4月23日 ver. 1.02 改訂

©bushiroad All Rights Reserved. illust. 西あすか